



学校だより

北海道中札内高等養護学校幕別分校
令和 7 年 3 月 24 日 (月)
第 6 号
〒089-0615 中川郡幕別町南町 81 番地 1
電話 0 1 5 5 - 5 5 - 2 1 2 1
FAX 0 1 5 5 - 5 5 - 2 1 2 2

子どもも大人もチャレンジを続けたい

校長 太田 千佳子

私も含めて大人は「自分がどれくらいできるか？」を経験的に知っていて、「自分には難しいので」「やれるような気がしないので」と、困難な状況を避ける術を知っています。そのため、子どもの時に比べて、「とても生きやすくなった」と感じる瞬間があります。

子どもの時は、「失敗してもいいからやってみよう」「やりもしないでどうしてやらないって決める？」と大人に言われることが多く、緊張や不安でドキドキが止まらない瞬間を何度も味わいました。失敗すると「だからやりたくなかったんだ!」とかんしゃくを起こすこともありました。

大人になって楽になった・・と思うのですが、でも最近思うのです。大人になったからと言ってそのドキドキを味わわなくてよいのだろうか？と。大人は失敗する自分を子どもに見せたくない、という心理も合わさり、自分ができるかどうか分からないことに手を付けられないことも多いような気がしています。しかし、子どもはそんな大人をどう見ているだろう？と思います。



先日、ある卒業生に言われました。その生徒は在学中に乱暴な言動や規則違反を繰り返し、何度も学校を辞めるかどうか？について悩んだ生徒でした。現在は、自分自身で仕事をしながら起業について考えるなど、自立して生活しています。

その生徒が、「学校にいたときに、先生たちがあきらめないで俺とかかわってくれた」「何度も裏切ったけど話を聞いてくれた」と懐かしそうに話してくれました。中には「俺と話したくないと思っている先生もいた」という先生もいたと言っていました。



彼にかかわった当時の先生たちは、自分自身の働きかけがうまくいかない経験を続けていました。そのかわりの中で「もう自分には無理」と思った先生がいたのも事実でした。そんな昔を振り返りつつ、試行錯誤しながら自分にかかわる先生方の姿を「かっこよかった」とも思っているその生徒の言葉が印象的でした。大人が何度も挑戦している姿を見せることや失敗する姿を見せることは大切かもしれない、と思いました。

「失敗をおそれないで」と大人は簡単に言いますが、失敗は怖いことという経験を大人は知っています。子どもに多くの経験をしてほしい、チャレンジしてほしい、と願う中で、私たち大人も自分がそうできているか？を振り返らなければならないかもしれない、と思い出すことができました。

3月、卒業生を4名送り出し、新たな仲間と4月を迎える準備が始まります。幕別分校の生徒、保護者、教職員がそれぞれのチャレンジを応援し合える学校に今後していきたいと思っています。

春の訪れを感じる季節となり、3月5日、令和6年度第10回北海道中札内高等養護学校幕別分校卒業証書授与式を挙行了いたしました。今年度の卒業生4名は、それぞれの成長を胸に、新たな道へと歩みを進めます。保護者の皆様には、これまでの温かいご支援とご協力に心より感謝申し上げます。

当日は、卒業生一人ひとりが堂々と卒業証書を受け取り、晴れやかな表情で学び舎を巣立っていきました。式では、在校生代表からの送辞や、卒業生代表による答辞が述べられ、それぞれの想いが込められた言葉が胸を打つ感動的なひとときとなりました。また、卒業生が退場する際に保護者へ手紙を渡し、これまでの感謝の気持ちを伝える場面がとても感動的でした。

在校生や教職員、そして保護者の皆様に見守られながら、卒業生たちは新たな未来へ向けて大きな一歩を踏み出しました。これまでの努力や仲間との絆を大切に、それぞれの進路で力強く歩んでいかれることを願っています。

私たち教職員一同、卒業生の皆さんがこれからも夢や目標に向かって進んでいけるよう、心より応援しております。保護者の皆様におかれましても、これまでのご理解とご協力に深く感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、改めまして卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんの未来が輝かしいものとなることを心よりお祈り申し上げます。

卒業式担当 山下 透

3年1組は、学校で1番人数の少ないクラスでした。生徒の人数が少ないので、「先生も入れて、1つの集団」という雰囲気があり、何かやる時には教師も一緒に楽しむようなクラスでした。そんな4人の成長を感じたのは、学校祭です。ずいぶん早いうちから、ステージ発表で何をやるか、給食中に話したりして決めていました。「衣装作ったから見てみて。」「台本作ってきたけどどうかな?」などと言って、教師がいなくても4人で知恵を出し合って形にしていく姿は、とても頼もしかったです。普段はドライな彼らが、「最後の学校祭を自分たちでやり切ろう!」と心を一つにして取り組んでいることに感動しました。

4月からは、それぞれの道に進みます。社会に出ると、楽しいことばかりではなく、苦しいこともたくさんあります。失敗したときには「自分はだめな人間だ」なんて思わず、次からどうするかを考えて行動していった方がいいです。4人の良い所は、真面目さと素直さです。そのことを忘れず、きっとできるようになると信じて努力を続けて欲しいです。

2年間、担任として一緒に過ごせたことに感謝します。
楽しかった! ありがとう!

そして・・・卒業おめでとう!

3年1組担任 志賀 あずさ



1年間を振り返って

中堅学年として、2学年を無事修了することができました。2年生は、高校生活で1番の思い出となる見学旅行がありましたが、本当に次から次へと行事や活動が休みなく続きますと4月に伝えていましたが、みんなしっかりがんばりました。

1年生で体験したこと他に、現場実習も2回それも単独での実習、週一回のデュアル実習や事前訪問、礼状書きと次の学習が始まる前に見通しをもって学習していました。先を考えて行動できたことは、みんなの成長を感じました。

進路については、1年生から4回の実習を経験して、自分の得意なこと、苦手なことどんな仕事があるのかなど自分を知る機会が多くあり、じっくり考えた1年でした。自分の希望とする進路を目指し、あと1年ラストスパートです。

また、学校祭や見学旅行など何事でも、クラス全員でまとまって取り組める男子6名は、私にとってたいへん自慢なことです。4月からは最上級生です。社会人の一歩手前です。先輩として何事にも挑戦し、更なる成長を期待しています。

2年1組担任 千葉 久幸

「2年生って行事がたくさんで忙しい〜！」と誰かが口にしていた通り、現場実習、学校祭、見学旅行、デュアル実習、池田高校との交流とたくさんの行事や日々の学習活動を駆け抜けた1年でしたね。先輩としての意識も芽生え、後輩を引っ張っていく頼もしい存在になったと思います。

また、進路についてもたくさんの学びを得た1年でした。春と秋の現場実習、デュアル実習と3度の実習を経験し、自分の長所や課題をより明確にすることができたのではないかと思います。進路のことを真剣に考え、面談では将来について自分の言葉で話す姿に成長を感じました。

4月からはみなさんが最上級生です。それぞれの個性が色濃く光るかけがえのない1年にしてください。後輩たちの模範となるよう、また社会に出ることを意識して更なる成長を期待します。

2年2組担任 児玉 涼

毎日緊張した様子で過ごしていた4月。最初はぎこちない様子だった7人でしたが、今では、お互いの個性を理解し、認め合い、励まし合えるようになってきました。1年間、初めての経験ばかりで見通しが持てず、不安も強かったと思いますが、苦手なことにも挑戦し、努力する姿が大変頼もしかったです。実習や学校生活を通して、自分自身の課題にも気づき始めてきました。これからは、「自分の良い所」をもっともっと大切にしてほしいと思います。

2学年では、進路と真剣に向き合わなくてははいけません。これまでの経験や学びを生かし、「明るさ」「元気さ」「一生懸命さ」を忘れず、様々なことに挑戦し続けてほしいと願っています。皆さんの更なる成長を期待しています。

1年1組担任 渡邊 ちひろ

4月は作業の清掃、農業が始まり、7月は学校祭、9月は2週間の現場実習、10月は宿泊研修と初めてのことが続きました。2組の皆さんは、お互いの得意、不得意を理解して、色々な活動に助け合いながら取り組んでいて、優しい生徒の集まりだなと思って見ていました。気付けば3月、この1年は盛りだくさんであっという間でした。1年どうだったか聞いてみたところ、「とても楽しくてあっという間でした」、「新しいことが多くて大変だったけれど楽しかった」、「色々なことがありすぎでした」、「少しずつ学校に行けるようになって良かった」など、一人一人のがんばり、成長が伝わってきました。とてもうれしく思います。新年度は実習が3回もあります。どの活動にも一生懸命取り組み、一人一人のペースで成長してほしいと思います。

1年2組担任 水口 哲夫

中札内高等養護学校幕別分校校歌

「明日への希望」

作詞 松岡 達也
作曲 赤松 拓

はるか遠く続く道を
我らは歩き始めた
強く刻んだ希望を
胸に深く詰め込んで
輝くこの日に 強く願って
この手をつないで あふれる思いを
肩寄せ君と語ろう ここで
いつも 我ら 夢を抱いて

二度と戻ることのない
数えきれぬ思い出
迷い傷ついたとき

あのときをいつも思い出す
僕らはあのとき 何を見つめた
腫を睨いて 明日に向かって
両手を高く大きく広げ
いつも我ら 思い抱いて

はるか大地 広がる空
星の瞬き 見つめて
尽きせぬ 流れの中

ただひたすらに生きていく
思いは果てなく 大空羽ばたく
希望の未来に 大空飛び立つ
いつしか夢をかなえるために
いつも我ら 願い抱いて

小さな両手に大きな夢をのせて
輝く未来を はなさず

羽ばたけ強く高く広く
いつも我ら 未来抱いて

